

## データサイエンス副専攻 自己点検・評価資料

データサイエンス副専攻について、自己点検・評価の一環として次の分析を行ったので報告する。

### 1. 副専攻科目の単位修得状況（対象：2022年度春学期登録者）

副専攻登録者の修了の妨げになり得る要因を早期に把握するため、2022年度春学期副専攻登録者（2022/5/2時点。2021年度秋学期以前からの継続登録者を含む）について、単位修得状況（2022年度春学期の履修中科目単位も、修得見込として含めた）を一覧に整理した。

#### 2022年度春学期登録者の単位修得状況について

- 必修科目「データ・サイエンス」について  
4年次でも、経済学部以外の学生は単位を修得できていない傾向が強いように見られる（経済学部：24名中13名修得、他学部：51名中14名修得）。ただし母数が少ない学部があるため、各学部の傾向までは把握できない。
- 基礎統計学科目について  
2,3,4年次共通で、理工学部情報システム工学科は単位修得できている学生が多いが、その他学部は単位を修得できていない傾向が強い（情報工：92名中32名修得、他学部学科：163名中4名修得）。
- 基礎プログラミング科目について  
2年次の理工学部共生創造理工学科生は他学部に比べて単位修得が出来ている学生が多い傾向がある（共生17名中14名修得、他学部66名中9名修得）。
- 必修科目以外の合計単位数、修了について  
4年次の理工学部情報システム工学科生、経済学部は修得単位数が多い傾向にある（情報工：平均7.3単位、経済：平均6.1単位、他学部学科：平均2.2単位）。また現時点での修了見込者は6名で、うち5名が理工学部情報システム工学科生、1名は経済学部である。

### 2. 学生生活アンケート質問「入学時に比べて、あなたの以下のような能力や知識はどのように変化しましたか。」の傾向分析

データサイエンス副専攻登録者の学修成果を測る1つの方法として、学生生活アンケートの以下の設問の回答結果を登録者と未登録者で比較した。

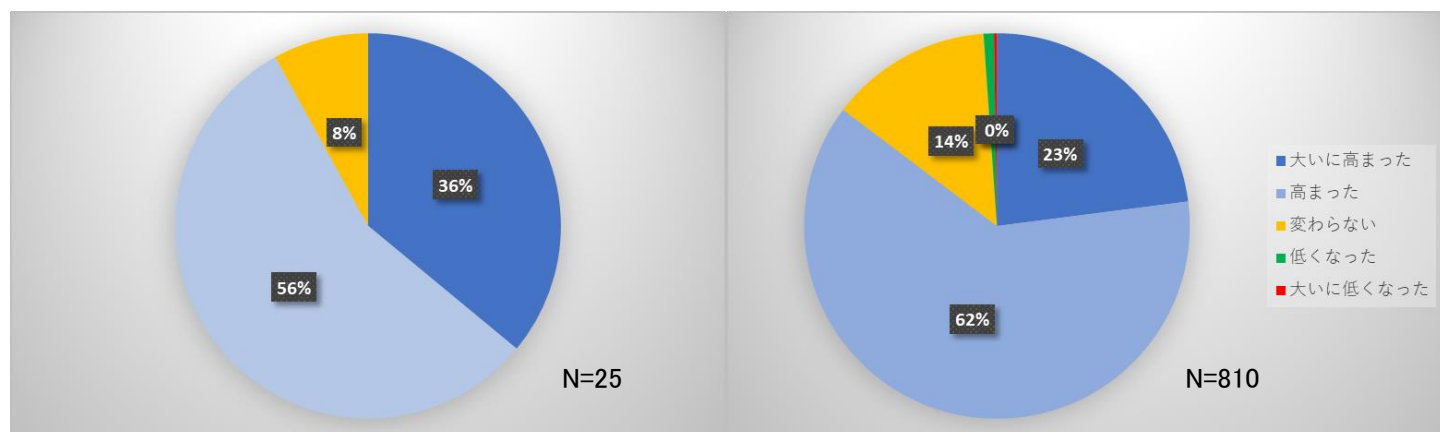
Q.入学時に比べて、あなたの以下のような能力や知識はどのように変化しましたか。

- 問題解決に必要な知識や情報を適切に収集し、活用する能力
- 物事や情報を分析し、その関係性や法則を適切に表現できる論理的思考力
- データを的確に整理・分析し、その傾向性などを表現できる数理能力

以下に集計結果のグラフを示す。

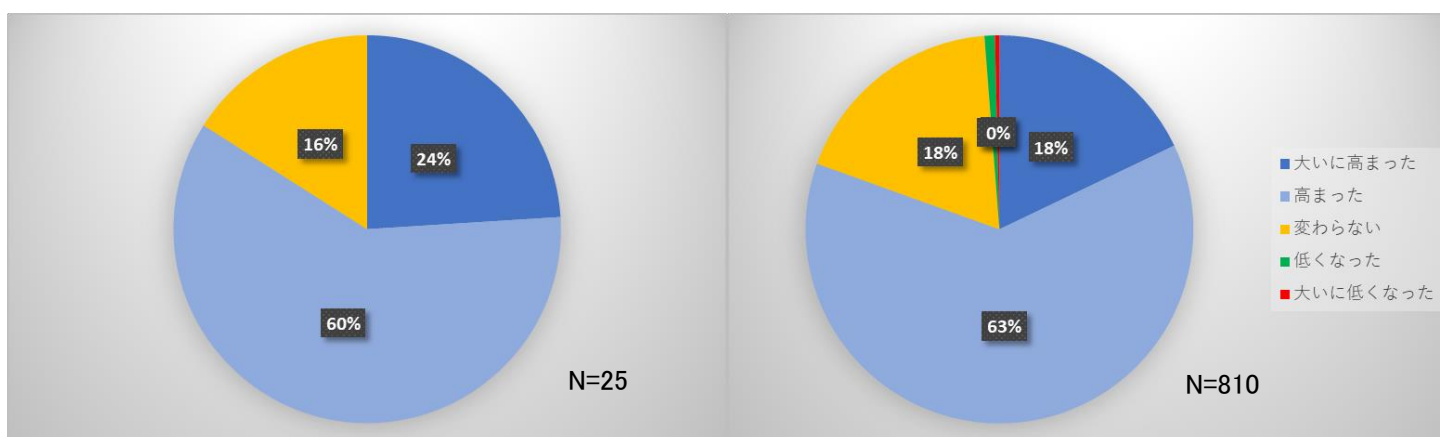
問題解決に必要な知識や情報を適切に収集し、活用する能力

(左：副専攻登録者 右：副専攻未登録者)



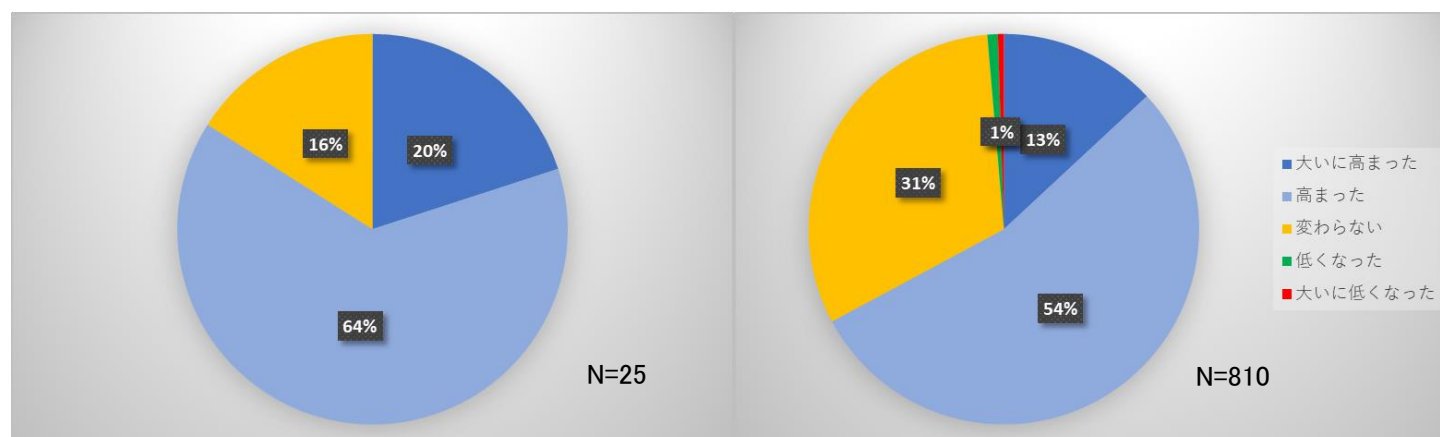
物事や情報を分析し、その関係性や法則を適切に表現できる論理的思考力

(左：副専攻登録者 右：副専攻未登録者)



データを的確に整理・分析し、その傾向性などを表現できる数理能力

(左：副専攻登録者 右：副専攻未登録者)



いずれの設問も副専攻登録者の方が「大いに高まった」「高まった」の割合が比較的大きく、副専攻の学びが一定の影響を与えていることが推定される。

以上